



夏山登山訓練 Y 懸 参加感想文

富田 文雄

当初計画の 7/3 は天候不良で 7/10 に延期となり、7/10 の前日までは、降水確率も高く、どうなることやらと思いましたが、参加メンバの中に、晴れ男、晴れ女がおられ、心配した雨もさほど降らず、金比羅山岩場(Y 懸)での夏山登山訓練を無事遂行することができました。

私自身、今回の夏山登山は易コース参加ではありますが、岩場でのロープワークを用いた訓練は、初めての経験でした。

登る岩場の目標箇所にある木にロープを結びつけトップロープにより安全確保をした上で、3 点確保による

- ・クライマー(登る人)とビレイヤー(下でロープを確保する人)がペアになって行う岩場を登るやり方
 - ・クライマー(登る人)のみで、安全環付カラビナを操作しながら岩場を登るやり方
- の訓練をリュック無し、リュック背負い有りで、初心者チームは若林さんのご指導のもと実施した。

訓練を終えて、振り返ると

- ・登り始める時に手を離して、ロープが張った状態の確認をする時、体のバランスの取り方が自分自身はぎこちなかった。
- ・クライマーの立場で岩場を登る時のビレイヤーとの声の掛け合い、手と足を岩場にしっかりかけることに集中したあまり、できていなかった。
- ・声の掛け合い(2way コミュニケーション)のキーワード、しっかり押さえておかないといけないテンションという言葉のみ、今も覚えています。
- ・安全確保はしているとはいえ、訓練中は、待機時間も集中、真剣に取り組むことの大切さを実感(一つ間違えたら大怪我をしてしまう)

先輩方からは、有名な夏山は、環境も整備されており、今回のようなトップロープによる安全確保による岩場の登り、降りの機会は少ないとは言われているが、有事の際は、登山メンバで協力、信頼し合いながらの対応が必要になることを認識する機会となった。

又昼食後、簡易ハーネス用スリング、カラビナを 2 セット用いたロープにカラビナをかけての上り下りの体験も、岩場以外での活用において勉強になった。

また、私自身の課題は、ロープワーク、エイトノットの結び方等、頭で考えず、自然に手が動くようにならなければいけないところです。

予定した夏山訓練登山(武奈ヶ岳、Y 懸)が無事、完了した、後は、8/5 からの本番に向け体力、体調含めしっかり準備していきましょう。

高橋有紀

初めてビレイヤーをさせてもらいました。命を預かることなので、とても緊張しました。横についてご指導いただきありがとうございました。ロープの張り具合、登る人の速度に合わせる事が難しかったですが、1回目より2回目、4回目で左右の手の動かし方も少しずつスムーズになりました。身体の色々なところに変に力が入ってしまい明朝は腕が筋肉痛でしたが、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

林尚子

岩登りに対する恐怖感をなくすトレーニングです。という先輩の声を聞き、急にやる気が湧きました。3点確保、体足の動きについてご指導いただき、いざ実際に始めると全てできない！ベテランの先輩方がスパイダーマンのように軽快なリズムで岩を登り降りする姿が信じられず目をこすりそうになりました。そして、Y懸になくてはならないロープ。それを要領よく扱い上と下とで声をかけ合い、汗びっしょりになりながらロープを常に程よい状態に保つ先輩方。そうする間も終始励ましの言葉やアドバイスを忘れない。そんな先輩方の姿に新たな目標ができました。翌日には、あれほど怖いと思っていた岩へ不思議と名残惜しさを感じています。今回も貴重な体験ができ感謝しております！どうもありがとうございました。



トップロープクライミング



クライマーの動きを注視するビレイヤー



2本のスリングを付け替えての登り下り



金毘羅山中腹